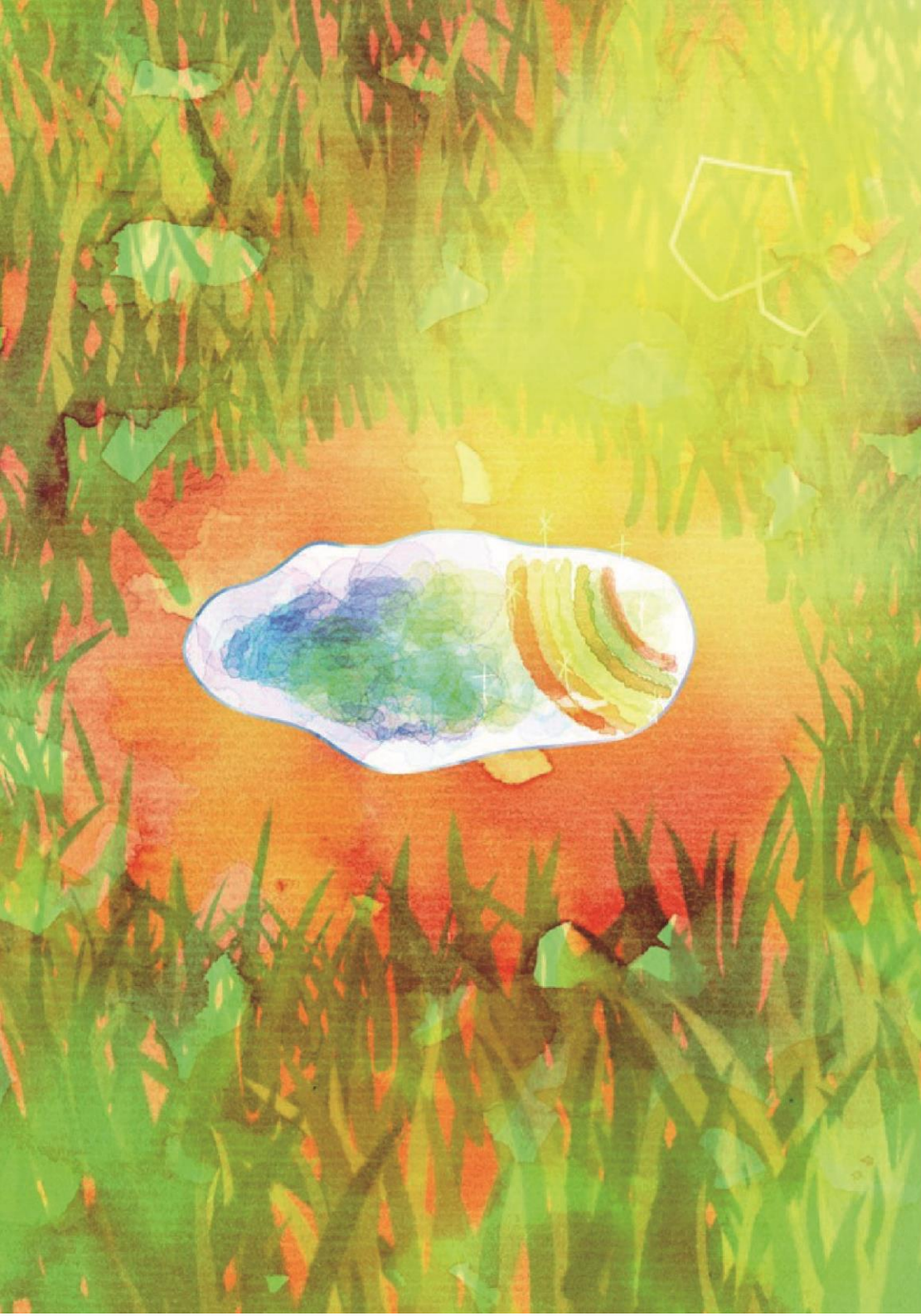




高校生のための LGBTQハンドブック ～自分らしさは誇らしさ～

獨協大学経済学部
高安健一ゼミナール
LGBTQチーム

はじめに

私たちは、獨協大学経済学部高安健一ゼミナールに所属している大学3年生です。高安ゼミでは、世界の様々な問題とその解決策について学んでいます。6名で構成されるLGBTQチームは、ジェンダーに関わる差別に興味を持ち、調査・研究活動に取り組んできました。

皆さんの周りに、外見も性格もあなたと全く同じ人はいますか？ おそらくないはずです。なぜなら人は、それぞれ年齢、国籍、文化、身体的特徴など、様々な特徴を持っていることが当たり前だからです。このように、一人ひとりが持つ特徴が異なっていることを「多様性」といいます。

この多様性の一つに「性別」があります。さらにその性別も、男性・女性の二つだけではなく、多様な種類に分けることができるのです。

皆さんは、「LGBTQ」という言葉を聞いたことがありますか？

LGBTQとは、L:レズビアン G:ゲイ B:バイセクシュアル T:トランスジェンダー Q:クエスチョニング という“性のあり方”を表した言葉です。

今日の日本の社会には、LGBTQの人たちにとって暮らしにくい環境がまだまだ残っています。それは、LGBTQについて知らない人や、知っていてもその知識が誤っている人がいるからではないでしょうか。そのため、LGBTQであることを理由に差別や偏見を受けてしまい、苦しんでいる人がいるのです。

そこで私たちは、「多様性の一つであるLGBTQが尊重される社会」を目指して活動を始めました。そのための手段として、正しい知識の定着を図ろうと考え制作したのが、この『高校生のためのLGBTQハンドブック～自分らしさは誇らしさ～』です。“自分とは何か”を考え始める時期である、高校生を対象に制作しました。

より多くの人にLGBTQについて知ってもらえるよう、このハンドブックには様々な視点からの情報を掲載しました。日本社会の現状や企業による取り組み、さらには、日本と比較するために、アジアの中で「LGBTQ先進国」と呼ばれているタイへ現地調査に行き、その内容についても取り上げています。また、知識を広めるもう一つの手段として高校生を対象に実施した、授業の内容についても掲載しています。

一人ひとりがお互いの特徴を尊重し合えるようになれば、より多くの人にとって暮らしやすい社会になるでしょう。

このハンドブックが、そのような社会を作るための一助となることを願っています。

問題

？

英語版Facebookには、男性・女性以外にも多くの性別欄が用意されています。さて、全部でいくつ用意されているでしょう？

？

→ 正解は次ページ！

正解は...

58種類!!

驚いた人も多いのではないのでしょうか。このように性別は、男性・女性だけでなく、多様な種類に分けることができるのです。

一人ひとり異なる性のあり方を「セクシュアリティ」といいます。セクシュアリティは、その人を構成するとても大切な個性の一つです。

オリジナルキャラクター:けろっば

社会を“かえる”ためにLGBTQのことについて色々調査してきたよ! そこで分かったことをみんなに紹介するね!

それじゃあここから、セクシュアリティやLGBTQのことについて一緒に考えていこう!



【“LGBT”と“LGBTQ”の表記の違いについて】

私たちは、LGBTだけでは表しきれないセクシュアリティがあることを知ってほしいと思い、LGBT「Q」にこだわりました。しかしこのハンドブックでは、引用した資料に記載されている通り、LGBTと表記している箇所があります。

目次

はじめに	p.1
セクシュアリティってなんだろう?	p.5
どのくらい身近なんだろう?	p.7
現状について知ろう!	p.9
なぜ問題が生じてしまうのだろう?	p.11
日本の先端的な取り組み①	p.13
日本の先端的な取り組み②	p.15
世界を見てみよう!	p.17
タイはLGBTQ先進国!?	p.19
高校生に授業を実施	p.23
Q&Aコーナー	p.29
ALLYと当事者の声	p.31
大切なこと	p.34
おわりに	p.35
謝辞	p.36
参考文献	p.37



性って? LGBTQって?

セクシュアリティを構成する4つの軸

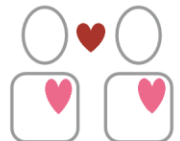


4つの性の軸は、男性的か女性的かという両極端な考え方ではありません。例えば、服装はボーイッシュなものが好きだけれど振る舞いは可愛い、など一人の人が表現する性だけでも多様な面があります。無理やり枠にはめようとするので

LGBTQについて知ろう!

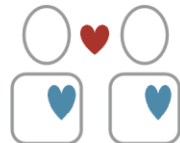
レズビアン
Lesbian

こころの性が女性で、好きになる人の
こころの性も女性である人のことです。
女性同性愛者を指します。



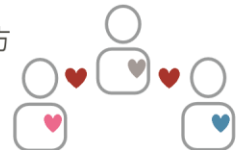
ゲイ
Gay

こころの性が男性で、好きになる人の
こころの性も男性である人のことです。
男性同性愛者を指します。

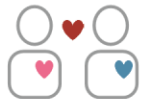


バイセクシュアル
Bisexual

好きになる人のこころの性が男女両方
である人のことです。
両性愛者を指します。

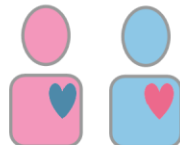


ヘテロセクシュアル 異性愛者のことを指します。

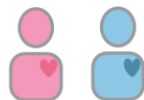


トランスジェンダー
Trans
gender

からだの性とこころの性が異なる人
のことです。



シスジェンダー からだの性とこころの性が
同じ人のことです。



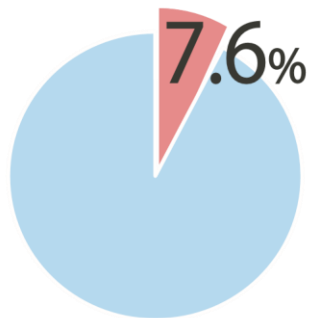
クエスチョニング
Questioning

自分のこころの性や好きになる性が定
まらない人のことです。





日本人のLGBTの割合は？

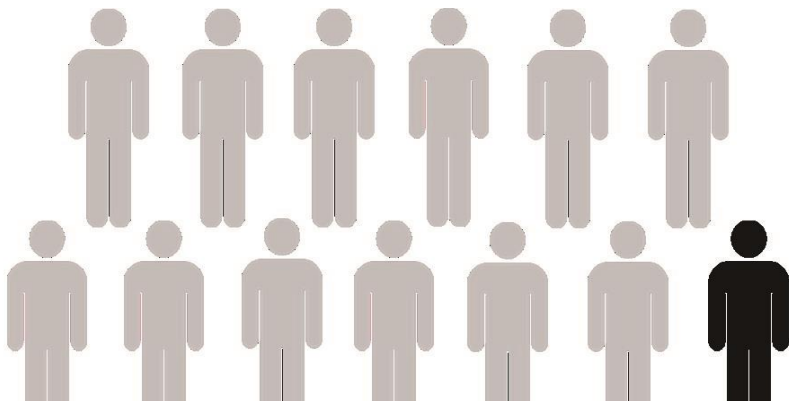


日本人のおよそ7.6%がLGBTであるといわれています。

このデータは「LGBT」の人の割合であり、クエスチョニングの人が含まれていないので、「LGBTQ」の人の割合はさらに高まるでしょう。

出所：電通ダイバーシティラボ
<http://www.dentsu.co.jp/news/release/pdf-cms/2015041-0423%2B.pdf>

7.6%ということは**13人に1人**がLGBT

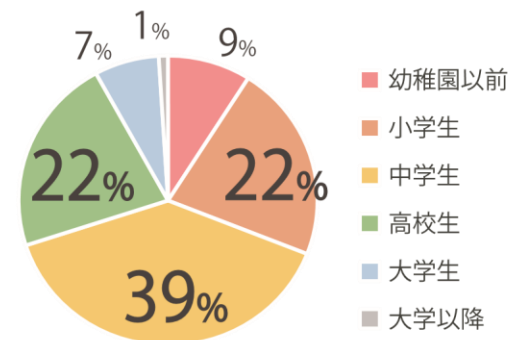


13人に1人って
どのくらいなのかな...？

実はこの割合、**左利き**の人や**AB型**の人とほとんど同じなのです！

皆さんの家族や友達にも、左利きの人やAB型の人はいると思います。その人たちと同じくらい、LGBTQの人たちも当たり前の存在なのです。

いつ自分が「LGBT」かも、と思ったか



LGBTのほとんどの人が、学生のうちに、自身がLGBTであると気が付いたということが分かります。思春期に悩みを抱え込んでしまう人も多いようです。

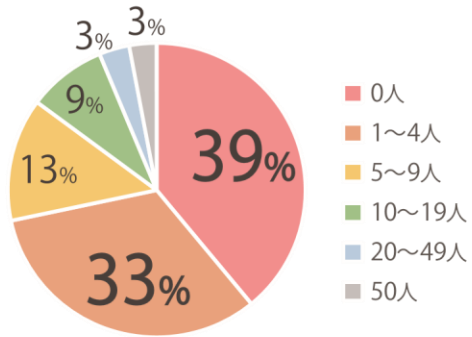
出所：いのちリスペクト。ホワイトリボンキャンペーン
<http://endomameta.com/schoolreport.pdf>





どんな問題があるのだろうか？

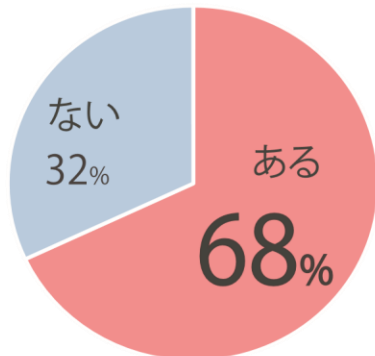
自分がLGBTであることを何人に打ち明けたか (小学生から高校生の間)



約4割のLGBTの人が、自身のセクシュアリティについて打ち明けられずにいることが分かります。カミングアウトしなければいけないというわけではありませんが、中には周囲の人に理解してもらえないことを恐れて、打ち明けたくても打ち明けられない人もいます。

参考:いのちリスペクト。ホワイトリボンキャンペーンを参考に筆者作成。
<http://endomameta.com/schoolreport.pdf>

LGBTを理由にいじめや暴力を受けたことはあるか



悲しいことに、7割近くのLGBTの人がいじめや暴力を受けたことがあると回答しています。また、いじめ等の経験から、3割以上の人が自殺を考えたことがあるというデータもあります。

出所:いのちリスペクト。ホワイトリボンキャンペーン
<http://endomameta.com/schoolreport.pdf>

LGBTQの人たちは、どんなことに困っているのでしょうか？



外出先でトイレに入るとき
男性用と女性用しかない
どちらを利用するか
迷ってしまう。

同性のパートナーと一緒に暮らしたくても
大家さんの理解が得られない。

職場の人が理解を持っておらず
仕事を辞めてしまう。
あるいは辞めさせられてしまう。

アンケートや履歴書
などの性別記入欄で
困ってしまう。



身近な存在のはずなのに、こんな問題があったなんて！



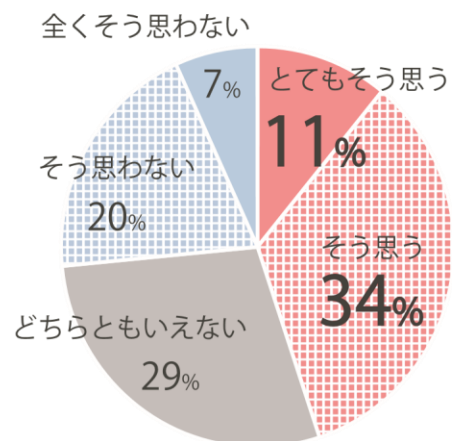


なぜ様々な問題が生じてしまうのだろう？



アンケート調査から
こんなことが分かったよ！

LGBTQの人は自分にとって遠い存在だと思うか

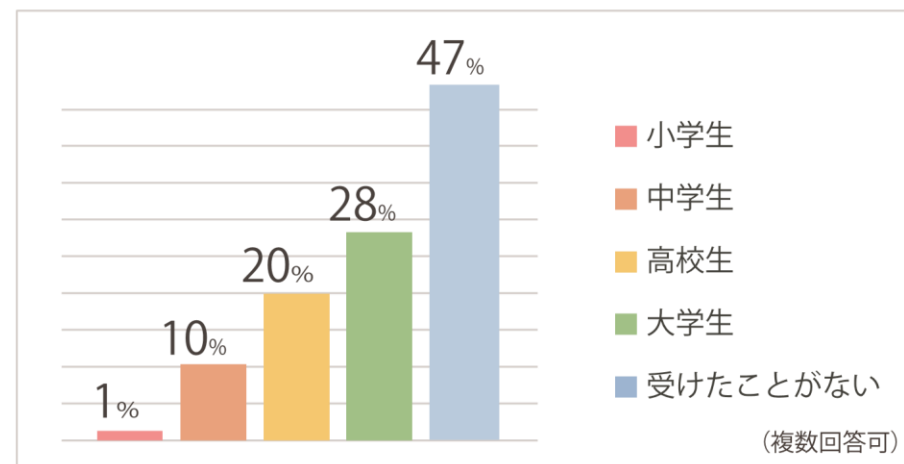


皆さんは左利きの人やAB型の人のことを遠い存在だと感じることがありますか？ おそらく、感じないという人が多いのではないのでしょうか。

しかし、左利きやAB型の人とほとんど同じ割合であるLGBTQの人のことは、自分にとって遠い存在だと感じている大学生が半数近くいました。

出所：2017年7、8月にLGBTQチームが獨協大学生160人を対象に行った調査

LGBTQに関する授業を受けたことがあるか



出所：2017年7、8月にLGBTQチームが獨協大学生160人を対象に行った調査

半数近くの大学生が学校でLGBTQについて学んでいないことが分かりました。また、授業を受けたことがある人の中でも、義務教育である小・中学校で学んだことがある大学生は1割程度しかいませんでした。正しく学ぶ機会がないと誤解や偏見を持ったまま大人になってしまうかもしれません。

LGBTQについて知らない人や、知っていてもその知識が誤っている人が多いことが様々な問題の原因なのではないのでしょうか。

この現状、何とかしなきゃ！ でも、どうすれば良いのだろう...？

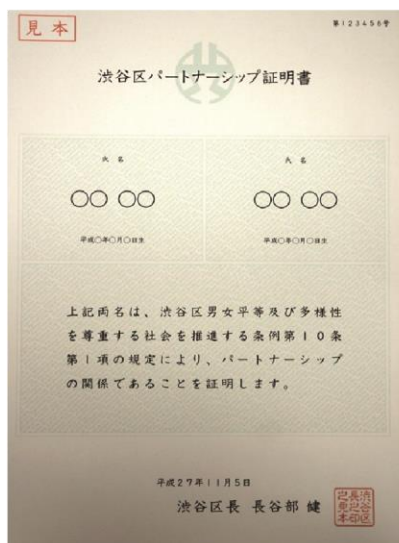




現状を変えるために、どのようなことが行われているのだろう？
日本で行われている取り組みをいくつか紹介するよ！

渋谷区パートナーシップ証明書

渋谷区では、日本で初めて「パートナーシップ証明書」を発行しました。パートナーシップ証明書とは、戸籍上の性別が同じ恋人同士も、パートナーの関係として証明されるものです。KDDIやNTTdocomoでは、この証明書などを元に携帯電話サービスの家族割引を同性カップルにも適用しています。



<https://www.city.shibuya.tokyo.jp/est/oowada/pdf/partnership2017a.pdf>

http://www.huffingtonpost.jp/2015/11/04/lgbt-couple-shibuya-setagaya_n_8475140.html

東京レインボーパレード

「LGBTQの人が差別や偏見にさらされず、前向きに生活できる社会の実現」を目指して、東京レインボープライドというイベントが開催されています。このイベントは毎年ゴールデンウィークに開催されていて、「らしく、たのしく、ほこらしく」をモットーに毎年多くのLGBTQの方々、またLGBTQを理解し、支援する方々が参加しています。東京レインボープライドでは様々な企業や団体がブースを出展していて、その数は年々増え続けています！下の写真はイベントのひとつであるパレードで街を練り歩く人たちの様子です。

**TOKYO
RAINBOW
PRIDE**

<https://i2.wp.com/tokyorainbowpride.com/wp-content/uploads/2017/11/user.png?resize=400%2C400>

2017年参加者数：
10万5,000人以上
(参加人数は年々増加！)

2017年協賛企業・団体数：
190(過去最多！)



<https://mainichi.jp/graphs/20160508/hpj/00m/040/002000g/1>

日本でも取り組みが始まっているんだね！





他にも先進的な取り組みを行っている企業があるみたい！
お話を伺った企業について紹介するね！

株式会社 資生堂

資生堂では、社内でセミナーを行いLGBTQの人に対する理解者を増やす活動をしています。2017年1月より、社内規定の一部の規程（慶弔見舞金、介護、育児休暇、社宅規程等）の配偶者の定義に同性パートナーも含めました。

LGBTQの方にとっても
働きやすい環境が
整い始めています！



RECRUIT 住まいカンパニー SUUMO

RECRUIT SUUMOでは賃貸物件情報に「LGBTであることを理由として、入居の相談や入居自体をお断りすることはない」と積極的に意思表示することを示す「LGBTフレンドリー」という特徴項目を追加しました。

SUUMOの取り組みによって
住まい探しの幅が



株式会社 丸井グループ

丸井グループでは、年代・性別に関係なく、高齢の方、障がいのある方、外国人やLGBTの方など、すべてのお客さまに喜んでいただける店づくり、商品づくりに取り組んでいます。プライベートブランドのシューズやスーツは、幅広いサイズ展開で“着たくてもサイズがなくてあきらめていた”方はもちろん、同様に悩んでいたLGBTの方々にも喜ばれています。

LGBTQの方々に限らず、
すべてのお客さまに喜んでもら
えるような取り組みなのです！



株式会社 Nijiリクルーティング

Nijiリクルーティングは、LGBTQの人向けに特化した企業です。当事者が就職活動をスムーズにできるよう、企業に対してアドバイスをしています。

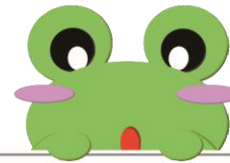
LGBTQの方々や企業にとって
心強い味方ですね！



LGBTQの人に寄り添った取り組みを
考えている企業があるんだ！



世界を見てみよう!



世界ではどんな動きがあるのだろう...?

オランダ



2001年、世界で初めて同性婚を合法化した国。
LGBTQ先進国であるオランダは教育機関によるサポート体制も整っており、カミングアウトの平均年齢はなんと14歳。
アムステルダムのプライドパレードは、運河で行われるとても華やかなものとして有名。



Free high-resolution photos from Muhammad.

カナダ



2005年、ヨーロッパ以外で初めて同性婚を合法化。
多様性に寛容な国であり、カナダ人であっても結婚できるため、世界中から同性カップルが挙式に訪れるそうです。



アメリカ



カリフォルニア州はレインボーフラッグ発祥の地。
1970年から、プライドパレードがニューヨークでのストーンウォール事件をきっかけに始まりました。
2015年、全米で同性婚を合法化。



タイ



アジア初のトランスジェンダー健康支援センターができた国。
日本から多くの人が性別適合手術に訪れる理由とは?
(詳しくはP.20をCheck!)

南アフリカ共和国



アフリカで唯一同性婚を合法としており、ゲイやレズビアンに寛容な国。
＜他のアフリカ諸国では宗教上の問題等もあり、違法とされています。 (2017年時点)＞



オーストラリア



「ディファクト・パートナー」制度により、同性愛者同士でも婚姻と同等の権利が得られるようになりました。
「シドニー ゲイ&レズビアン マルディグラ パレード」はオーストラリア最大級のLGBTQイベントとして有名です。

ブラジル



サンパウロでは、300万人超のプライドパレードが行われます。
2013年、同性婚を合法化。
また、自己申告による性別変更を合法としています。
しかし、同性愛嫌悪による犯罪が増加しています。



タイにはトランスジェンダー専用の病院があるみたい！
タイがどんな国なのか見てみよう！

調査のためにタイに行ってきました！

きっかけは、LGBTQについて学んでいく中で、LGBTQの人にとってタイは日本に比べて生活しやすい環境が整っているという情報を得たことです。本やインターネットの情報を鵜呑みにするのではなく、自分の目で確かめる必要があると考えました。日本とタイでは、周りの人の対応や感じ方にどのような違いがあるかを知らするために、タイの大学でアンケート調査を実施しました。



※p.19～p.21の写真は全て筆者撮影



タイってどんな国？

タイは「ゲイフレンドリー」な国と言われており、18の性が存在します。また、タイでは「LGBT差別禁止法」が2015年に施行されました。この法律は多様な性を持つ人を守り、性に基づく差別を禁止したものです。差別的な行動などをした人は刑務所に6ヶ月間収監、または20,000バーツ（日本円で60,000～70,000円）の罰金を課せられます。

トランスジェンダー健康支援センター

トランスジェンダーの人にとって、病院は周りの目が気になって行きづらいと感じる人が多く、受診する人が少ない現状があります。そこで首都バンコクにトランスジェンダー専門の支援や治療ができるヘルスセンターが設置されました。他の病院よりも安く受診できるため、国外からも多くの患者が来院しています。多い日には300人を超える患者が訪れます。



これはタイの街中で見つけた広告だよ！
ゲイカップルの写真が使われているんだ。
ほかにも同性同士のカップルをよく見かけたんだ。
タイには多様なセクシュアリティが当たり前で認められている環境があるということが分かったよ！



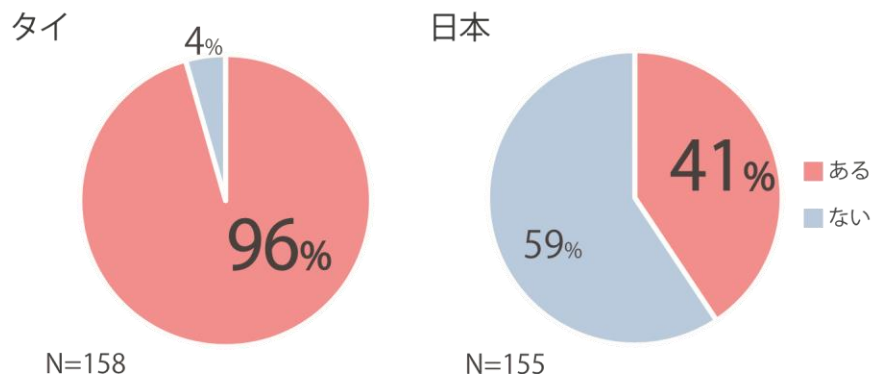


タイの大学生は、LGBTQについてどう感じているのかな？
アンケート結果を日本と比較してみよう！



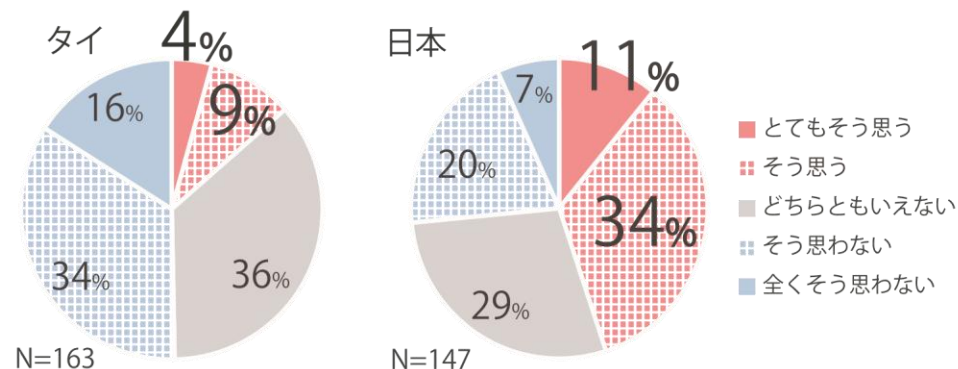
※ 2017年7, 8月にLGBTQチームが獨協大学生160人、タイの大学生167人を対象に行った調査です(未回答者除く)。

LGBTQをオープンにしている人に会ったことがあるか



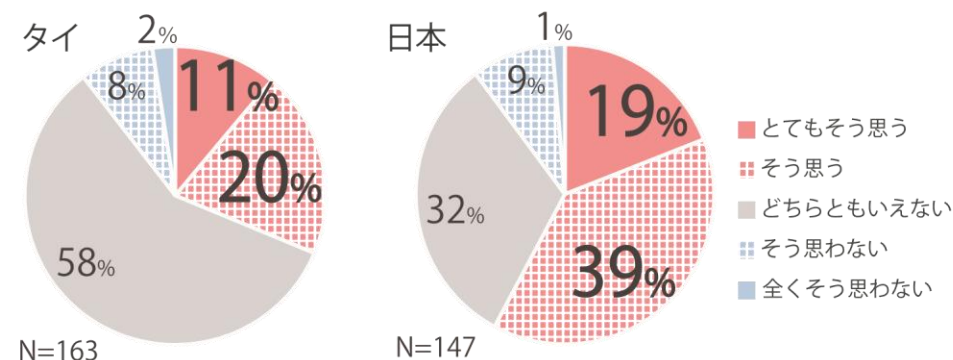
タイでは9割以上の方が、LGBTQであることをオープンにしている人に会ったことがあると答えています。このデータから、タイは自分のセクシュアリティについてオープンにしやすい環境であることが分かります。

LGBTQの人は自分にとって遠い存在か



LGBTQであることをオープンにしている人が多いタイでは、LGBTQの人を遠い存在であると感じている人はとても少ないということが分かりました。

これからLGBTQについて理解を深めていきたいか



理解を深めたいと考えている人はタイより日本のほうが多く、約6割という結果となりました。一方タイでは3割程度の人しか、理解を深めたいと回答しませんでした。この背景として、既にLGBTQであることをオープンにしている人がたくさんいるため、ある程度理解が深まっていることが考えられます。

タイではLGBTQを身近に感じている人がとても多かったよ！



これまでの調査を通して...



まずはLGBTQについて「知る」ことが
大切なかもしれない...!

私たちは、もっと多くの人にLGBTQについて知ってもらうために、LGBTQに関する知識を広めるべきだと考えました。中でも悩みの多い時期である高校生にLGBTQを知ってもらいたいと思い、私たちが通う獨協大学の併設校である獨協埼玉高等学校の1年生 約360人を対象に授業を実施させていただきました!



私たちのゼミナールでの
プロジェクト活動の流れに
沿って、LGBTQについての
基礎知識などを話しました。





授業では、こんなことを伝えました！

自己紹介や大学説明

- 「ゼミナール」とは
- 私たちの所属している高安ゼミでの活動



私たちに
できることは…？

ほかの課題は…？



4つの性の軸

からだの性
生まれた時の性別

こころの性
自分が在りたいと思う性別

好きになる性
恋愛対象とする性別

表現する性
服装/振る舞い/行動から見た性別

性別って？

- LGBTQという言葉が何を表しているのか
- 4つの性の軸
- LGBTQの割合

LGBTQの人が困っていること

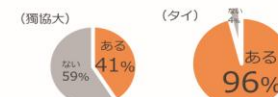
- どんなことに困っているのか



タイへ現地調査

- 訪問した企業の取り組み
- LGBTQの方のお話
- タイの大学生を対象に行ったアンケート調査の内容と、獨協大学生との比較

国内で、LGBTQをオープンにしている人に
会ったことがありますか？



※「どちらでもない」と未回答は除く ※小数点切り捨て
出所：2017年7、8月にLGBTQチームが獨協大学生160人、タイの大学生167人を対象に行った調査

日本での取り組み

- 日本の企業や団体の取り組み

わかったらすぐ行動！

OIOI
MARUI GROUP

株式会社Nijiリクルーティング



インタビュー紹介

- LGBTQの方のお話
- ALLY(詳しくはP.31)の方のお話

LGBTQの方の声

一人ひとり個性があるように、性の
あり方も異なります。自分とは異なる人
たちとの出会いを楽しんでください！

「やっぱ愛タホ」 i daho-net 代表
遠藤 まめた 様



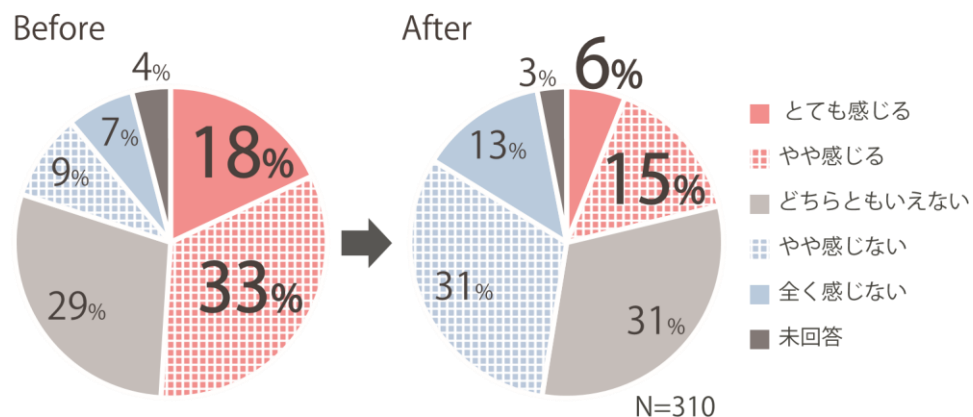
この授業を通して、生徒の皆さんの意識が
どのように変化したのか、次ページで見てみよう！



アンケートの結果から分かったことを
質問項目ごとにまとめたよ!

生徒の皆さんのLGBTQに対する意識を調査するために、授業を実施する前と後でアンケートをとらせていただきました! 対象は高校1年生 約360人です。そのうち前後比較のできた310人の結果がこちらです。

LGBTQは自分にとって遠い存在だと感じるか

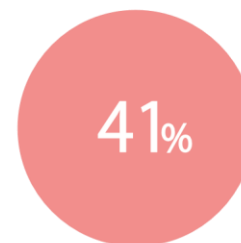


出所: 2017年11月にLGBTQチームが獨協埼玉高等学校1年生360人を対象に行った調査

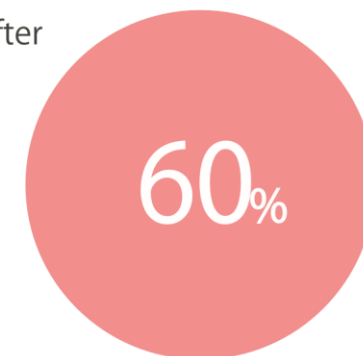
授業前に比べ「LGBTQは自分にとって遠い存在だと感じる」と答えた人は30ポイント、約100人少なくなりました。授業の中でLGBTQの人の割合や、セクシュアリティの考え方などについて知り、LGBTQの人たちについて身近な存在であると感じる人が増えました。

カミングアウトをされたら理解したい

Before

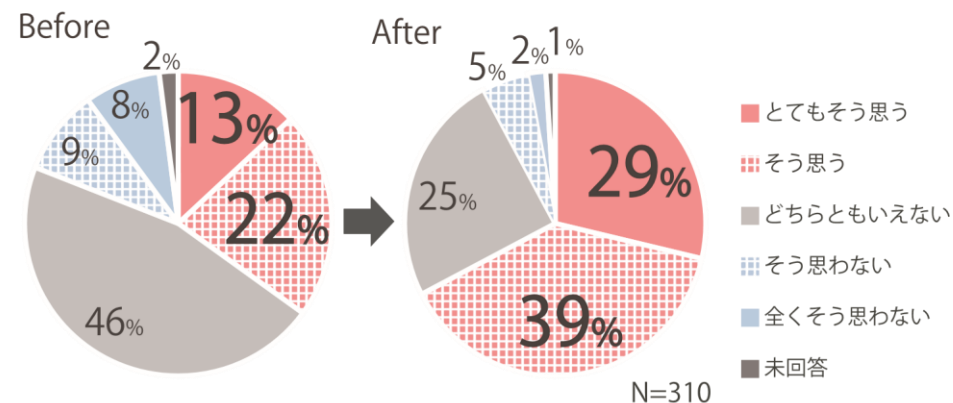


After



授業後のアンケートで「周りの人からLGBTQであることをカミングアウトされたら理解したい」と答えた人は授業前から約20ポイント増え、60%になりました。授業の中でLGBTQについて正しく知ること、LGBTQの人について理解を深めたいと感じる人が増えたことがわかります。

LGBTQについて義務教育で教えるべきだと思うか



授業を経て「LGBTQについて義務教育で教えるべきだ」と答えた人は全体の約7割と、授業前に比べおよそ2倍となりました。多くの人が多様な性のあり方について教えるべきことだと感じたようです。

LGBTQについてまずは知ることが
人々の意識を変える重要な一歩となることが分かったよ!



Q&Aコーナー



高校生の皆さんがアンケートの
自由記入欄に書いてくれた
質問に答えるよ!

**Q : LGBTQであることを友達や家族から
相談(カミングアウト)されたらどうすればいい?**

A : 模範解答はありません!

LGBTQの方一人ひとり、自分のセクシュアリティに対する考え方や感じ方は異なります。その為言われて嬉しいと感じる言葉も人それぞれ異なるので模範解答はありません。

カミングアウトをされて驚いたことや感じたことなどを、素直に伝えることが大切でしょう。

Q : 自分のセクシュアリティについて相談できる場所は?

A : みなさんに身近なホットラインをご紹介します!

NPO法人OCCUR

NPO法人OCCURは、同性愛やHIV/エイズについての「正しい知識・正確な情報の普及」「差別・偏見の解消」「ネットワークづくり」を目指す、民間のNPO法人です。

電話番号: 03-3380-2269 (匿名可)
受付日時: 火・水・木曜日 20:00~22:00 (祝日を除く)

中高生LGBT+支援団体「すばる」

LGBT+の中高生当事者に向けたより身近な居場所づくり、交流学びの場を提供することを目指し、活動を始めています。

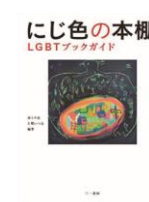
Twitter: @subaru_lgbtplus

Q : LGBTQのことについてもっと知る方法は?

A : LGBTQに関するおすすめの文献!



『LGBT なんでも聞いてみよう』
～中・高生が知りたいホントのところ～
著者: QWRC&徳永桂子
出版: 子どもの未来社



『にじ色の本棚』
～LGBTハンドブック～
著者: 原ミナ汰・土肥いつき
出版: 三一書房

ALLYと当事者の声



ALLYの方々やLGBTQ当事者の方々に
直接お話を伺って来たよ!

ALLY 編

*ALLY(アライ)とは、LGBTQの方々の活動を支持、支援すること。



株式会社資生堂
グローバル広報部
社内・デジタル広報G

丸山 鉄臣

私がALLYになったきっかけは、2015年5月に会社のボランティアで東京代々木レインボープライドに参加したことです。

その当時は、「LGBT」というワードは耳にしたことはあったものの、友達や身近な存在にはいませんでした。

私がALLYとして心掛けていることは、その人を尊重すること。ALLYと聞くと、何か特別なことをしていると思われる方もいるのですが、特別な活動をしているのではなく、「身近な同僚や友人が困っていれば、相談に乗る、無理なく、自然体のまま、本音で語れる関係を築くこと」が重要だと考えております。

肌色が違う人、言語が違う人、もちろんセクシュアリティが違う人、多様な価値観を認め合い、個人を尊重できる世の中になればと思っています。



中高生LGBT+支援団体
「すばる」

ALLYメンバー

私自身、将来教師になろうと思っていた矢先に授業でLGBTの現状を学びました。13人に1人いるならば、私が将来受け持つ生徒にも必ずいる。その時に何も知らない状態でいたら、悩みを相談をされても力になれないどころか傷つけてしまうかもしれないと思い、いてもたっても居られなくなり勉強を始めました。今では「ALLY」として性別に悩む中高生への支援活動をしています。

周りの大人の中に1人でも理解者がいたら、子どもたちの不安や悩みを減らすことができると信じています。だからこそ、一人ひとりの子どもたちが自分らしく生きることをサポートしていきたいと思っています。



株式会社
Nijiリクルーティング
代表取締役

齋藤 敦

『ALLYになってよかったこと』

私が「LGBTQ」という言葉にちゃんと出会ったのが2年前。職場の後輩の話を聞いたのがきっかけでした。

それまでLGBTQという言葉は遠い存在でしたが、意識して自分から多くのLGBTQの方に会い、話をしました。LGBTQの方の悩みを聞くだけでなく、1人の人間として、趣味や興味のあることについて話したり、価値観をぶつけあったりしました。その結果感じたことは、

「LGBTQの方といっても、何も特別なことはない。目の前にいるAさんはAさんでしかない、ということです。」

今はLGBTQの方が働きやすい職場環境づくりや就職のお手伝いを事業として行っています。

ALLYになることは、LGBTQの方だけではなく、自分自身の心の豊かさにつながっていくと思います。

LGBTQ 編



「やっぱ愛ダホ！
idaho-net」代表

遠藤 まめた

私は、幼稚園の頃から何かしらの性別違和がありました。小学生の頃は、「わたし」と書くことさえも抵抗がありました。さらに自分の体が女性化していくことに耐えがたく、自分が自分ではなくなっていくような恐怖感や違和感に圧倒されながらも、日々をしのいでいました。高校生の頃、自分が「性同一性障害」という状態であったこと、自分と同じように感じている人たちがいることを知り、人生が変わりました。しかし先生に打ち明けても「気の迷いじゃないの」と一笑に付されるだけ。高校卒業まで、鏡に映る自分の制服姿に、毎日打ちのめされ続け、自分の環境を変えることに苦労しました。

一人ひとり個性があるように、性のあり方も異なります。目の前にいる子どもたちの声をきちんとキャッチできる環境が増えることを願っています。

「この世界は複雑で、わかりにくくて、だけどシンプルです。自分とは異なる人達との出会いを楽しんでください。」



中高生LGBT+支援団体
「すばる」代表

嶽石 翼

私は現在、中高生のセクシュアルマイノリティの居場所を作る活動を行っています。

私自身もゲイセクシュアルであり、中高時代は自分を偽ることなく過ごせる場所がないことの辛さを経験しました。当時は、信頼する友人・家族にも嘘をついて偽っているような気持ちで過ごし、心の何処かに孤独を感じていましたが、その気持ちも偶然にも同じ境遇の友人に出会い、当事者として自分らしくあれる居場所が一つ出来たことで大きく変わりました。

今の悩みゆく中高生には、そういった居場所を見つけ、ひとりではないことを自分自身で感じてほしいです。自分自身が行動することでつながりはどんどん増えていきます。いろんな人の自分らしさが認められ笑顔になることができる、そんな居場所がもっと増えることを願い、これからも活動を続けます。

大切なこと

ここまで調査をしてきて、
大切なことが分かったよ！

それは・・・



偏見を持たずに、 “その人自身”を見ること

偏見を持つということは、ある人の偏った面だけを見てしまうことです。しかし、人は誰でも見た目などの簡単に判断できる特徴だけでは知りえない面をたくさん持っています。

その人の中身をきちんと見ずに一部の特徴だけで判断してしまうのは、その人の限られた部分を知ることにしかなりません。

だからこそ、どんな特徴を持った人と出会っても偏見を持たず、その人自身を見ることが大切なのです。

このページの背景に使われている虹は「一人ひとりの個性の尊重」を表していて、LGBTQの象徴としてよく使われます。

この虹の色が一つでも欠けてはいけないのと同じように、どんな人の個性も一つとして欠けてはならず、社会の中で欠けてもいい人は一人としていません。だからこそ、どんな個性を持った人に出会っても偏見を持つのではなく、その人自身を見ることが大切です。自分の個性も他人の個性も大切にできる人になってください。

おわりに ー自分らしさは誇らしさー

謝辞

このハンドブックのサブタイトルにもなっているこの言葉は、私たちが大切にしてきたキーワードの一つです。誰にでもその人にしかない“自分らしさ”があるでしょう。その“自分らしさ”に“誇らしさ”を感じることができるよう、すべての多様性が尊重される社会を目指していきたい、というのが私たちの願いです。

「多様性」を理解すること、お互いを尊重すること、これはとても大切であり、少し時間のかかることかもしれません。まずはこのハンドブックを通して、LGBTQを含む多様性について知ってもらえたらと思います。

そして忘れてほしくないのは、LGBTQを理解することだけが「多様性」を理解することではない、ということです。LGBTQは「多様性」のほんの一部でしかないのです。

私たちの活動のゴールは読者の皆さんに多様性やLGBTQについて知ってもらうことではありません。一人ひとりの意識や社会を変えていくための、一つのツールとしてこのハンドブックを役立ててほしいのです。一人ひとりがほんの少し意識を変えることによって、社会は大きく変わるでしょう。



このハンドブックを制作するにあたり、多くの方々にご協力、ご指導いただきましたことを心より感謝申し上げます。

獨協大学経済学部 高安健一教授

獨協大学経済学部 大床太郎准教授

アンケートに回答してくださった獨協大生の皆さん

リクルート住まいカンパニー 田辺貴之様、矢野名都子様

株式会社資生堂 丸山鉄臣様、中住純也様

株式会社マルイグループ 池田達哉様、井上道博様、高橋瑠奈様

株式会社Nijiリクルーティング 齋藤敦様

「やっぱ愛ダホ!idaho-net」 遠藤まめた様

中高生LGBT+支援団体「すばる」 嶽石翼様、ALLYメンバーの皆様

泰日工業大学 教員と学生の皆様

Rajamangala University of Technology, Borphitphimuk Campus
教員と学生の皆様

タイでお世話になったminasann

Amwaeo Nutthida

Jaturachart Apsorn

Tanachokrattanawong Preeyarin

Techakasikornpanich Pongkamon

Tiengtae Panida

ようこ紺様(表紙デザイン)



参考文献

- ・石田仁編(2008年)『性同一性障害 ジェンダー・医療・特例法』御茶の水書房
- ・遠藤まめた(2016年)『先生と親のためのLGBTガイド もしあなたがカミングアウトされたなら』合同出版
- ・及川卓(2016年)『ジェンダーとセックス 精神療法とカウンセリングの現場から』弘文堂
- ・尾藤りつ子・性と生を考える会編(2005)『性と生をどう教えるか』解放出版社
- ・セクシュアルマイノリティ教職員ネットワーク(2012)『セクシュアルマイノリティ第3版 同性愛、性同一性障害、インターセックスの当事者が語る人間の多様な性』明石書店
- ・QWRQ・徳永桂子(2016)『LGBTなんでも聞いてみよう 中・高生が知りたいホントのところ』子どもの未来社
- ・原ミナ汰・土肥いつき(2016)『にじ色の本棚 LGBTブックガイド』三一書房
- ・『ダイヤモンド・セレクト Oriijin ココロと多様性を生きる』(2017)ダイヤモンド社
- ・『現代思想 LGBT 日本と世界のリアル』2015年10月号, 青土社
- ・特定非営利活動法人Rebit(2017)「Ally Teacher's Tool Kit」
<http://rebitlgbt.org/kyozai/rebit_attk_2.handbook.pdf> (閲覧日 2017年8月22日)
- ・いのちリスペクト。ホワイトリボン・キャンペーン(2014)「LGBTの学校生活に関する実態調査(2013) 結果報告書」<<http://endomameta.com/schoolreport.pdf>> (閲覧日 2017年8月24日)
- ・株式会社電通 コーポレート・コミュニケーション局 広報部(2015)「電通ダイバーシティ・ラボが『LGBT調査2015』を実施—LGBT市場規模を約5.9兆円と算出—」
<<http://www.dentsu.co.jp/news/release/pdf/cms/2015041-0423%2B.pdf>> (閲覧日 2017年8月1日)
- ・NHK「LGBT当事者アンケート調査～2600人の声から～」
<<http://www.nhk.or.jp/d-navi/link/lgbt/>> (閲覧日 2017年8月1日)
- ・特定非営利活動法人 東京レインボープライド「プライドパレードについて」
<<http://tokyorainbowpride.com/pride-parade/>> (閲覧日2017年7月20日)
- ・ILGA「Maps | sexual orientation laws」<<http://ilga.org/what-we-do/maps-sexual-orientation-laws/>>
(閲覧日2017年7月5日)
- ・後藤純一“All About”「世界のLGBT最新事情【プライド月間 2017】」
<<https://allabout.co.jp/gm/gc/470220/>> (閲覧日2017年8月4日)
- ・笹川かおり(2017)“HUFFPOST”「世界各地で開催、LGBTの祭典ゲイ・プライドがすごい。アメリカはトランプ大統領に抗議」
<http://www.huffingtonpost.jp/2017/06/12/world-gay-pride-2017_n_17049456.html> (閲覧日2017年8月21日)
- ・“Letibee Life”「【トロントプライド2017】カナダ、トロントに注目する理由」
<http://life.letibee.com/trontopride2017_01/> (閲覧日2017年8月25日)
- ・“CHILL LIFE”「絶対に参加したい世界最大級のトロントLGBT・プライドパレード2016年イベント情報!」
<<http://chilllife.com/2016/05/pride-parade/>> (閲覧日2017年8月25日)
- ・“GENXY”「世界最大級のLGBTの祭典『シドニー・マルディグラ・パレード』が大盛況のうちに閉幕!」
<http://genxy-net.com/post_theme04/lgbt20150309/> (閲覧日2017年8月23日)
- ・“BORDERLESS”「同性愛者は死刑?!アフリカの過酷なLGBT(性的マイノリティ)事情」
<<https://www.borderless-japan.com/members/right/21473/>> (閲覧日2017年8月23日)
- ・“GENXY”「世界の同性婚ムーブメント & 同性婚可能国を一挙紹介」
<<http://genxy-net.com/tieup/samesexmarriage/>> (閲覧日2017年8月5日)
- ・“みんなのウェディング”「同性結婚式について日本と海外の比較。同性婚が認められている国とは」
<<https://www.mwed.jp/articles/5853/>> (閲覧日2017年8月22日)

高安ゼミナール作成のハンドブック・マニュアル

留学生と地域を結ぶハンドブック

2017年4月1日発行

【著者】獨協大学 国際親善倶楽部(DIAC)
経済学部 高安健一ゼミナール



あなたとつくる減災マニュアル2018

2018年1月15日発行

【著者】獨協大学経済学部
高安健一ゼミナール 減災かけはしチーム



高校生のための LGBTQハンドブック ～自分らしさは誇らしさ～

2018年2月15日

【著者】 獨協大学経済学部
高安健一ゼミナール LGBTQチーム
瀬田優、田中綾音、田中優伽、
富山由起乃、平田真菜、山本晃規

【Mail】 takayasu8.gender@gmail.com

【FaceBook】 獨協大学経済学部高安健一ゼミナール
@takayasuseminar2017

【住所】 獨協大学
埼玉県草加市学園町1-1

無断転載禁止